

# 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市鶴巻児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 23,484人 (前年度比 118.0%) 平成29年度 19,909人 平成28年度 19,756人 平成27年度 19,760人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 39,121千円 ( 36,078千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)  《収入》 ・ 使用料収入 0千円 ( 0千円) ・ その他収入 0千円 ( 0千円)  ( )は前年度決算額
		《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。
6	利用者の声	

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、毎月のクラブ通信の発行や保護者懇談会の開催等を通じ、育成支援の内容や子どもの様子等について家庭への情報提供を適切に行うほか、一人ひとりの様子については日々の連絡や個人面談の機会を活用して相互に伝え合える環境づくりに努めている。また、保護者組織の活動を支援し、キャンプ等の行事を通して保護者との協力関係を築きながら保護者同士の交流に取り組んでいる。	19/19

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

### 四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>多くの行事を通して、地域に協力を得ながら、児童が地域と繋がる活動を多く実施することが出来ました。また、児童の社会参画、自己実現を図る事業にも多く取り組み、積極的、主体的に参加する環境作りを進めることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●児童健全育成、子どもの社会参画 結成10年目となる子ども劇団「わんにゃんぶう」は、在仙の詩人武田氏による脚本演出の朗読劇を、文学館とギャラリー「チグリフリ」にて公演しました。また、中学生までの子どもボランティアを募集し、自主行事(子ボラとお祭り、こどものまち)の企画運営、児童館行事の補助など行い、地域のリーダー育成を目的に活動しました。</li> <li>●地域交流 「つるまきハロウィン」では今年も約30の施設、店舗、個人宅にお菓子配りの協力をいただき、また、町内会の方々に安全指導をお願いし、交流を図りました。また、「新春だよ!全員集合」や「あきらちゃんジャンプくんあそびうたコンサート」では、民生委員の皆さんにカレーをつくっていただいたり、児童クラブ保護者、地域ボランティアに協力を依頼したりして、地域交流、地域連携を図ることができました。</li> <li>●子育て支援 お茶のみやおはなし会など沙龙的な内容のもの、製作やクッキング、講話を聴く行事を多数行いました。また、(公財)仙台ひと・まち交流財団主催の「まるごとたかさGO」や高砂地区社会福祉協議会助成事業の「子育てサロン」、宮城野区まちづくり推進課主催の「はっぴーママ」などの企画に積極的に出張し活動しました。</li> <li>●放課後児童クラブ サテライト室も2年目の運用でしたが、環境設定も整い、本館との情報共有や連動した流れも定着しました。また、個別支援や家庭的な配慮の必要な児童が多く、限られた空間で多くの児童を受け入れる難しさを感じましたが、より高い専門性が求められる現場の中で、臨機応変に柔軟な対応をしていた職員を大いに評価したいです。</li> </ul>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>「子どもボランティア」「こどものまち」「こども劇団」等の活動を通して、子どもの自発的活動を継続的に支援している。話し合いの場で意見を述べ、役割を担い、自分たちで活動を作り上げることができるような援助に努めており評価できる。小学生を対象に、製作や集団遊びのほか、調理活動を月1回ほど定例行事として設けているのが特色でもある。子どもの主体性を尊重し、遊びや体験を通して、自主性、社会性、創造性の向上に取り組む姿勢がうかがえる。子育て支援については、保健師や主任児童委員等と連携しながら、幼児クラブや年齢別プログラム、茶話会形式のサロンなどを実施している。参加者同士の交流や気軽な相談の場を提供し、地域の子育て家庭を支援している。「ハロウィン」行事では地域商店等の協力を仰ぎ子どもが地域を歩き交流するなど、活動の場を地域の中に広げているほか、民生委員児童委員との日常的な情報交換を行うなど、地域と連携した運営に取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室